

学校経営 グラウンドデザイン

教育目標

《知》進んで学び、豊かな表現力を持つ生徒
《徳》心豊かで、互いに敬愛する生徒
《意》自らを律し、言動に責任を持つ生徒
《体》心身ともに健康で、自らを鍛える生徒



令和5年度
函館市湯川中学校

重点教育目標 『確かな学びを通して 自分らしく未来を生きる生徒』の育成

自走するWell-Being(ウェルビーイング)な学校 ... 継続と刷新を繰り返す。生徒も職員も明るく協働し学び続ける

心身ともに健康で幸福な状態

Mission (使命)

誰一人取り
残されることなく、
安心して学べる
学校の創出

- ・居場所づくり
- ・笑顔づくり
- ・学びづくり

Goal

(最終目標)

生徒も職員も
Well-Being(ウェルビーイング)
に過ごす学校

心も身体も温まる

学び続ける職員集団

- ・子どもたちの良き大人モデル
- ・持ち味をいかす「チーム湯川」

Vision(方策)1 生徒一人一人の可能性を引き出す

教師が「教える」学習から生徒が「学ぶ」学習への転換

- 生徒が主体となった学びづくり
 - ・課題解決型・探究的・体験的な学習の取組（教科横断的）
 - ・共感姿勢や存在感、自己決定場面を大切にした教育活動
 - ・対話的・民主的で協働的な取組の推進
- 多様な学びの保障
 - ・ICT活用等にもとづく個に応じた学びと協働的な学びの並行推進
 - ・合理的配慮（個性への配慮）とユニバーサルデザイン（わかりやすさ・掲示・表現等）にもとづく教育実践
 - ・欠席がちな生徒への、個に応じた、校内（別室サポートルーム）や校外（リモート授業、市教委等との連携）における多様な支援
- 教育環境の整備
 - ・清潔な校舎、アートインスクール、ICT機器、余裕空間の活用等

Vision(方策)2 生徒一人一人に確かな学びを保障する

心理的安全性の醸成と自己指導能力の育成

- 居場所づくり・絆づくり(心理的安全性、支持的風土にもとづく集団予防)
 - ・自治的活動の推進、行事・集会での主体性・所属感・有用感の醸成
 - ・多様性への理解をベースに、共生・協働するインクルーシブな教育実践(特別支援学級と通常の学級との共同・交流・通級推進)
- 一人一人を大切にする教育活動
 - ・いじめ防止対策推進法や子ども基本法等の法令や新生徒指導提要求をふまえた実践、および生命や尊厳を中心に据えた道徳教育
 - ・自己存在感・自己有用感の創出(協働的・対話的授業、異学年交流他)
- 有事の際の、スピード感と組織連携
 - ・「初動重視」(問題事案は、生徒・保護者に寄り添う丁寧な対応で即日解決)と、「再発防止策の検討・共有・実践」
- 生徒理解(傾聴姿勢による共感的理解)
 - ・対話重視、ICTや紙面交流、日常観察、各種教育相談・アンケート、保護者連携、生徒指導交流会等

地域とともに歩む、持続的で魅力ある学校（開かれた教育課程）

- ・保護者・地域への積極的情報発信(各種通信、安心メールホームページ、懇談会等)
- ・PTA、学校運営協議会、校区小学校との連携・協働
- ・「湯川学」を柱に、地域とつながり、地域の中で育む多様な資質・能力

【基本理念】 生徒を核に、湯川中学校に関わるすべての人々が、より心豊かな生活を送れるようにする
～ 湯川中学校のすべての生徒が保護者・地域の支えのもと安心して学び、その成長過程がわたしたち教職員の働きがいとなり、保護者の喜びとなり、その成長した姿が地域へとフィードバックされる学校となる。